

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役COO (氏名) 福原 光佳 (TEL) 092(720)5800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	32,153	4.6	3,746	△3.7	3,805	△2.8	2,618	39.2
2025年9月期第3四半期	30,733	3.8	3,888	20.4	3,916	21.7	1,880	△13.3

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 2,446百万円(9.1%) 2025年9月期第3四半期 2,242百万円(2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	123.68	—
2025年9月期第3四半期	88.63	88.54

(注) 2026年9月期第1四半期より表示方法の変更を行ったため、2025年9月期第3四半期の経常利益及び対前年同四半期増減率につきましては、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	29,030	24,236	83.5
2025年9月期	28,251	22,809	80.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 24,236百万円 2025年9月期 22,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	52.00	52.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	57.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	9.4	5,000	4.6	5,020	2.9	3,400	33.1	160.37

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年9月期第1四半期より表示方法の変更を行ったため、経常利益の増減率につきましては、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	21,855,200株	2025年9月期	21,855,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	670,869株	2025年9月期	709,492株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	21,169,366株	2025年9月期3Q	21,219,309株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年8月7日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(表示方法の変更に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(企業結合等関係)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移した一方、物価上昇の継続や原材料価格の高止まり、不安定な国際情勢等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。個人消費につきましては、物価上昇の影響から節約志向が続くなど、消費者マインドは弱含みで推移しております。

このような市場環境のもと、当社グループは『美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。』というパーパスの実現に向けて、中期経営計画「Growth Next 2027」に基づく重点活動に取り組みました。

当社グループは、データベースマーケティングを進化させ、お客さま満足とQOLの最大化に貢献することを経営方針のひとつとして掲げております。全ブランドにおいてマーケティング投資のROIを管理し、効率的な投資対象を判断するとともに、化粧品・ヘルスケア問わず、好調ブランドや将来の成長に向けてマーケティング投資を機動的に再配分いたします。これにより、効率的な新規顧客の獲得と、安定した売上基盤となる定期顧客の増加を図り、持続的かつ収益性を伴う全社成長を実現させております。

上記の方針のもと、通信販売においては、ROIを重視した広告投資を継続しました。ヘルスケアの「Fun and Health」では、「Slimore Coffee(スリモアコーヒー)」への集中投資の効果により新規顧客および定期顧客が拡大し、売上高は計画を上回り推移しました。加えて、国内売上4年連続No.1(※)を獲得した「Wの健康青汁」は、強固な定期顧客基盤に加え、ECでの広告投資を継続し、さらなる成長を図ってまいります。化粧品の「PERFECT ONE FOCUS」は、新発売およびリニューアルしたクレンジングバームのECにおけるプロモーション施策が奏功し、幅広い顧客層への認知が拡大しました。これにより、当第3四半期のEC売上高は過去最高となりました。一方で、「PERFECT ONE」は、EC売上高は前年同期を上回り堅調に推移しましたが、戦略的な広告投資抑制の影響により減収となりました。

卸販売においては、「PERFECT ONE FOCUS」では、ECで実施した人気インフルエンサーやタレントを起用したプロモーションの波及効果もあり、売上が好調に推移しました。また、「Fun and Health」では「Slimore Coffee(スリモアコーヒー)」の展開店舗数が約12,000店舗まで拡大し、卸販売チャネルをけん引しました。一方、「PERFECT ONE」は、国内ブランドを取り巻く厳しい市場環境に加え、通信販売における広告投資抑制の影響もありましたが、新商品を起点に顧客接点の強化に向けた売り場の再活性化に取り組みました。

海外販売においては、米国では化粧品の取扱SKUを拡充し、中国では「Wの健康青汁」と「Slimore Coffee(スリモアコーヒー)」が好調に推移しました。加えて、今後の展開拡大に向け「Slimore Coffee Latte(スリモアコーヒーラテ)」のテストマーケティングにも取り組みました。

(※)【対象商品】機能性表示食品 青汁

(販売主要製品：2022年58製品、2023年70製品、2024年89製品、2025年95製品)

【調査概要】2022年1月～2025年12月の売上をIR・POS・広告・取材などにより算出

TPCマーケティングリサーチ調べ

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,153百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は3,746百万円(前年同期比3.7%減)、経常利益は3,805百万円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,618百万円(前年同期比39.2%増)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、778百万円増加して29,030百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が101百万円、投資その他の資産が322百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が262百万円、有価証券が500百万円、棚卸資産が569百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、648百万円減少して4,794百万円となりました。これは主に、買掛金が199百万円、未払金が183百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が580百万円、賞与引当金が130百万円、流動負債のその他が281百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1,426百万円増加して24,236百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が186百万円減少した一方で、利益剰余金が1,518百万円増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,118	18,094
売掛金	3,342	3,605
有価証券	—	500
棚卸資産	2,133	2,703
その他	460	359
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	24,020	25,228
固定資産		
有形固定資産	1,892	1,854
無形固定資産	506	438
投資その他の資産	1,832	1,509
固定資産合計	4,230	3,801
資産合計	28,251	29,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	653	853
未払金	2,287	2,471
未払法人税等	949	368
賞与引当金	214	84
その他	756	474
流動負債合計	4,860	4,252
固定負債		
退職給付に係る負債	189	191
その他	391	349
固定負債合計	581	541
負債合計	5,442	4,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,068	4,071
利益剰余金	15,554	17,073
自己株式	△1,363	△1,286
株主資本合計	22,418	24,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	191
為替換算調整勘定	3	21
退職給付に係る調整累計額	9	7
その他の包括利益累計額合計	391	219
純資産合計	22,809	24,236
負債純資産合計	28,251	29,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	30,733	32,153
売上原価	6,060	6,592
売上総利益	24,673	25,560
販売費及び一般管理費	20,784	21,814
営業利益	3,888	3,746
営業外収益		
受取利息	5	19
受取配当金	1	1
受取賃貸料	9	9
為替差益	2	14
投資有価証券評価益	15	—
投資損失引当金戻入額	—	46
その他	20	23
営業外収益合計	55	115
営業外費用		
支払利息	0	0
投資有価証券評価損	2	50
投資損失引当金繰入額	5	—
情報セキュリティ対策費	5	—
貯蔵品売却損	9	0
その他	4	5
営業外費用合計	28	56
経常利益	3,916	3,805
特別損失		
減損損失	759	—
特別損失合計	759	—
税金等調整前四半期純利益	3,157	3,805
法人税、住民税及び事業税	1,161	1,109
法人税等調整額	115	77
法人税等合計	1,276	1,187
四半期純利益	1,880	2,618
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,880	2,618

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,880	2,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	378	△186
為替換算調整勘定	△14	17
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	362	△171
四半期包括利益	2,242	2,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,242	2,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「特別損失」の「投資損失引当金繰入額」は、経営成績をより適切に表示するため、第1四半期連結累計期間より「営業外費用」に表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「特別損失」に表示していた「投資損失引当金繰入額」5百万円は、「営業外費用」の「投資損失引当金繰入額」5百万円として組み替えております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	232百万円	235百万円
のれんの償却額	52百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は、2025年8月5日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日として、当社を存続会社、当社の連結子会社である株式会社フラット・クラフト(以下「フラット・クラフト」といいます。)を消滅会社とする吸収合併(以下「本合併」といいます。)を決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社フラット・クラフト

事業の内容 食品の輸入、卸及び販売

(2) 企業結合日

2025年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、フラット・クラフトを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

新日本製薬株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、パーパスである『美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。』の実現に向け、中期経営計画「Growth Next 2027」の目標達成に向けた取り組みを推進しております。

この度、ヘルスケア事業を構成する完全子会社のフラット・クラフトを合併することで、ナレッジの共有によるシナジー効果の最大化に加え、経営資源の効率的な活用、及び迅速かつ柔軟な意思決定を可能とする体制強化を図り、中期経営計画の目標達成に向けた取り組みを一層加速してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。